



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫

◎石叫■

「至らない父」

今月二十二日にオレンジ郡教会で南加ホーリネス諸教会リトリートが開かれ、会堂には人が溢れた。この集会で引退された戸田ジョージ先生が教団創立者、葛原定市先生のお話をされた。何度も伺った内容だが、今回は特に心に響いた。それはシカゴで、定市先生の百歳の誕生日の時のお話だった。ご長男、千秋師を通訳者として、定市先生が十人近い男の子供たちを前にして「至らないお父さんであったことを許してくれないか」と言って深々と頭を下げたというのだ。その子供たちが一人一人「いいよ、お父さん、許してあげるよ」と言うまで、その子の前を離れなかったという。定市先生の心に子供たちに対して謝りたいという思いが四半世紀の間、ズーと心に懸かっていたのだった。いつかその時が来ることを待つて待つて、ついに百歳に至ってしまったのである。

定市先生は「太平洋の聖人」と云われたほどの神の逸材であり、私たち後輩にとっては、はるか目の上の存在であり、伝説の人である。その先生の働きは一世の人たちによって、今回のリトリートのようにいろいろな所で何度も語り継がれてきたものである。その先生にして、「至らない」と云うのならば、少なくとも私自身に関しては、とくに消えて跡形もないような存在である。定市先生は伝道の忙しさのゆえに家族の面倒を見ることもままならなかった。そのために子供たちに父としての愛情を注ぐことも充分に出来ず、彼らの心も捉えることも出来ず、教会につながることも、信仰を伝えることもままならなかった。それを定市先生は悔いて、子供たちの前で百年の頭を垂れたのだった。

子供たちから尊敬できる何ものも持つてはいない「至らない」自分であることを知って、このように愛する者の前で謙虚に頭を下げる姿は実に神々しいばかりである。しかし、それは彼らに、自分の全存在を賭けて信じてきた神に心を開いて欲しいという叫びからきている。そうなのだ。伝道というのは、この二千年間、至らない者たちによって連面と伝えられてきたものではなかったか！ その悔いし砕かれた魂によって人々の心が開かれてきたのではなかったか！

詩篇に「神の受けられるいけにえは砕けた魂です。神よ、あなたは砕けた魂をかるしめられません」(五一・17)とある。これは王ダビデが神の前に罪を犯し、それを心から悔いた時の魂の叫びであり、その赦しを信じた神への賛美である。このように自らの至らなさを知る者が神と人の前に尊いのであり、それが相手の心を開く。これが伝道なのである。その正体を見させてほしい。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

